



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3950 URL <https://www.thepack.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 英昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 藤井 道久 (TEL) 06(4967)1221  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	44,878	13.3	2,976	45.6	3,147	36.9	2,133	50.0
2022年12月期第2四半期	39,617	8.3	2,044	40.1	2,298	43.6	1,422	33.0

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 2,942百万円 (68.7%) 2022年12月期第2四半期 1,744百万円 (22.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	112 16	112 08
2022年12月期第2四半期	74 85	74 78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	93,831	67,705	72.1
2022年12月期	94,365	65,371	69.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 67,660百万円 2022年12月期 65,324百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30 00	—	35 00	65 00
2023年12月期	—	35 00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	43 00	78 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2023年8月7日）公表いたしました「通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	8.9	7,100	18.9	7,500	18.1	4,900	20.7	257 45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2023年8月7日）公表いたしました「通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	19,900,000株	2022年12月期	19,900,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	867,896株	2022年12月期	890,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	19,023,178株	2022年12月期2Q	19,002,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和される中、インバウンド需要の増加や物価高を背景とした賃金上昇もあり、飲食、レジャー、宿泊関連を中心に経済は回復傾向にありました。一方、生活必需品やエネルギー価格の高騰、資材価格の上昇といった物価高や為替相場の変動といった影響は長期化しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

米国の経済は、実質賃金の上昇に伴い個人消費が底堅く推移しており、雇用者数も増加傾向にあります。高水準が続くインフレ抑制に向けて金融引き締めが継続されており、景気後退への懸念が生じております。一方、中国の経済は防疫措置の緩和を受け飲食や旅行といったサービス消費の回復は続いているものの、不動産業や輸出の不振が続いていることが景気を下押ししております。

このような状況の中、当社グループは、「進化 – パーパス経営・サステナブル経営のスタート –」を中期経営計画のスローガンに掲げ、連結売上高1,070億円、営業利益70億円（2025年12月期）の達成を目標としており、グループ全社が結束して新たな市場開拓、積極的な設備投資、品質管理の改善などにより業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は448億78百万円（前年同期比13.3%増加）、営業利益は29億76百万円（前年同期比45.6%増加）、経常利益は31億47百万円（前年同期比36.9%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億33百万円（前年同期比50.0%増加）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### （紙加工品事業）

当第2四半期連結売上高の70.7%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比29.0%）は、国内における個人消費並びに観光需要の回復もあり増収となり、同上売上高は129億93百万円（前年同期比15.4%増加）となりました。

紙器（同上構成比25.1%）は、観光消費による土産物市場の回復並びに、テイクアウト用の食品向けパッケージの販売も好調に推移し、同上売上高は112億62百万円（前年同期比15.8%増加）となりました。

段ボール（同上構成比14.1%）は、メーカー向けの販売が好調に推移し、EC市場向けパッケージの販売も堅調に推移した結果、同上売上高は63億43百万円（前年同期比6.7%増加）となりました。

印刷（同上構成比2.5%）は、株式会社京浜特殊印刷、日幸印刷株式会社ともに売上が堅調に推移し、同上売上高は11億35百万円（前年同期比6.7%増加）となりました。

以上により、この部門の売上高は317億34百万円（前年同期比13.3%増加）となり、営業利益は27億15百万円（前年同期比39.1%増加）となりました。

#### （化成品事業）

当第2四半期連結売上高の14.8%を占めるこの部門では、紙おむつ用製品と食品向け軟包装の販売が好調に推移したことに加えて、個人消費や訪日外国人によるインバウンド需要の回復を受けて、通販や専門店向けの販売も好調に推移した結果、同部門の売上高は66億54百万円（前年同期比27.4%増加）となり、営業利益は2億88百万円（前年同期比46.1%増加）となりました。

#### （その他）

当第2四半期連結売上高の14.5%を占めるこの部門では、コロナワクチン関連の販売が減少したものの、専門店向けの縫製品や不織布バッグの販売が堅調に推移したことにより、同部門の売上高は64億89百万円（前年同期比1.4%増加）となり、営業利益は4億85百万円（前年同期比12.5%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億34百万円減少し、938億31百万円となりました。これは主に「建物及び構築物」21億1百万円・「土地」19億9百万円・「無形固定資産」14億18百万円の増加、「受取手形及び売掛金」54億90百万円・「有価証券」19億円の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ28億68百万円減少し、261億25百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」24億14百万円・「電子記録債務」4億13百万円の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ23億34百万円増加し、677億5百万円となりました。これは主に「利益剰余金」14億68百万円・「その他有価証券評価差額金」6億23百万円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結累計期間に比べて23億81百万円(11.8%)減少し、177億19百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上が31億29百万円となり、仕入債務の減少28億57百万円、棚卸資産の増加7億38百万円等があった一方、売上債権の減少55億66百万円、減価償却費10億14百万円等により50億66百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は44億49百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入65億円等があった一方、有価証券の取得による支出60億円、有形固定資産の取得による支出43億51百万円、無形固定資産の取得による支出14億65百万円等により54億13百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は20億65百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額6億64百万円等により7億3百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は5億14百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績が当初予想に対して好調に推移していることから、2023年2月6日発表の決算短信に記載した業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2023年8月7日)公表いたしました「通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,163	16,729
受取手形及び売掛金	23,886	18,396
有価証券	12,500	10,600
商品及び製品	6,015	6,733
仕掛品	1,032	1,214
原材料及び貯蔵品	1,108	953
その他	792	956
貸倒引当金	△14	△19
流動資産合計	61,484	55,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,132	8,233
機械装置及び運搬具（純額）	5,641	5,908
工具、器具及び備品（純額）	348	363
土地	8,539	10,448
建設仮勘定	3,068	2,057
有形固定資産合計	23,729	27,011
無形固定資産	1,044	2,462
投資その他の資産		
投資有価証券	6,746	7,537
繰延税金資産	421	171
その他	992	1,133
貸倒引当金	△53	△50
投資その他の資産合計	8,106	8,792
固定資産合計	32,881	38,266
資産合計	94,365	93,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,370	11,956
電子記録債務	6,689	6,275
1年内返済予定の長期借入金	25	25
未払法人税等	1,349	1,122
賞与引当金	291	334
役員賞与引当金	45	21
その他	3,283	3,571
流動負債合計	26,054	23,306
固定負債		
長期借入金	34	22
繰延税金負債	431	453
退職給付に係る負債	2,294	2,251
その他	178	91
固定負債合計	2,939	2,818
負債合計	28,994	26,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,166	3,156
利益剰余金	60,654	62,123
自己株式	△2,661	△2,592
株主資本合計	63,713	65,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,391	2,014
繰延ヘッジ損益	△3	2
為替換算調整勘定	89	273
退職給付に係る調整累計額	134	130
その他の包括利益累計額合計	1,611	2,420
新株予約権	46	45
純資産合計	65,371	67,705
負債純資産合計	94,365	93,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	39,617	44,878
売上原価	30,183	33,587
売上総利益	9,433	11,291
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,868	2,001
給料及び手当	2,003	2,208
役員報酬	215	265
貸倒引当金繰入額	0	4
賞与引当金繰入額	143	178
役員賞与引当金繰入額	13	19
退職給付費用	131	144
減価償却費	180	256
賃借料	1,355	1,479
その他	1,476	1,755
販売費及び一般管理費合計	7,389	8,314
営業利益	2,044	2,976
営業外収益		
受取利息	61	74
受取配当金	56	57
受取賃貸料	25	20
受取補償金	65	-
為替差益	20	14
その他	37	18
営業外収益合計	267	185
営業外費用		
支払利息	0	1
賃貸収入原価	4	2
投資事業組合運用損	-	6
その他	8	4
営業外費用合計	13	14
経常利益	2,298	3,147
特別利益		
固定資産売却益	1	-
国庫補助金	-	49
特別利益合計	1	49
特別損失		
固定資産除却損	6	18
投資有価証券売却損	44	-
減損損失	188	-
固定資産圧縮損	-	49
特別損失合計	239	67
税金等調整前四半期純利益	2,060	3,129
法人税、住民税及び事業税	636	981
法人税等調整額	1	14
法人税等合計	637	995
四半期純利益	1,422	2,133
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,422	2,133



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,422	2,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	623
繰延ヘッジ損益	11	6
為替換算調整勘定	319	183
退職給付に係る調整額	△7	△4
その他の包括利益合計	322	808
四半期包括利益	1,744	2,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,743	2,942
非支配株主に係る四半期包括利益	1	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,060	3,129
減価償却費	945	1,014
減損損失	188	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	42
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	△23
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△169	△49
受取利息及び受取配当金	△118	△131
支払利息	0	1
投資事業組合運用損益(△は益)	-	6
固定資産売却損益(△は益)	△1	-
国庫補助金	-	△49
固定資産除却損	6	18
投資有価証券売却損益(△は益)	44	-
固定資産圧縮損	-	49
売上債権の増減額(△は増加)	4,705	5,566
棚卸資産の増減額(△は増加)	△843	△738
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,641	△2,857
その他	74	162
小計	5,238	6,143
利息及び配当金の受取額	124	132
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△912	△1,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,449	5,066
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△5,000	△6,000
有価証券の売却による収入	4,500	6,500
有形固定資産の取得による支出	△1,323	△4,351
有形固定資産の売却による収入	3	-
無形固定資産の取得による支出	△184	△1,465
投資有価証券の取得による支出	△154	△18
投資有価証券の売却による収入	60	6
貸付金の回収による収入	8	28
敷金及び保証金の差入による支出	△16	△200
国庫補助金による収入	-	49
その他	41	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,065	△5,413
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△12	△12
配当金の支払額	△473	△664
その他	△27	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514	△703
現金及び現金同等物に係る換算差額	163	117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,033	△933
現金及び現金同等物の期首残高	18,067	18,653
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,101	17,719

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。